

上田仮説サークルニュース		5月例会	2017.05号
編集責任 遠藤 裕		発行2017.6.24	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サカガーデン中野 B-G Tel 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 長野工業高校 Tel 026-227-8555			

5月27日(土) 上田市中央公民館 2F第1会議室
午後3:00～9:30



参加者数7名 資料総ページ162 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 北村知子さん, 池田みち子さん,
渡辺規夫さん, 北村秀夫さん, 遠藤裕

はじめに 5月例会の参加者は7名。

レポートは、柳沢さんから7本(新聞記事の紹介を1本にさせていただきました)、増田さんから2本、北村知子さんから1本、渡辺さんから2本の合計12本の発表。総ページ数は162ページで、資料数が非常に多く、今回も内容の濃い発表でした。

柳沢さんは、読書メモで10冊の本を紹介、17項目の新聞記事の紹介、内田樹氏のブログからの紹介、Clの化学式の書き方、エチレンの生産量の推移、手書きメモの紹介、「合格体験記」執筆要領など多岐にわたる発表でした。

増田さんの<今月の本紹介18>は40ページ。今回は「イスラーム文化」についての本の紹介で、イスラーム哲学の権威である井筒俊彦著『イスラーム文化 その根底にあるもの』。また、2回目となる<信州イスラーム世界勉強会>の講義メモの報告。この講演はあと6回が予定されており、興味のある方は是非ご参加を。

渡辺さんは、『物理学史研究』の研究覚え書き、板倉聖宣論文「ガリレオはいかにしてその力学を建設したかー誰から何を学び何が独創的だったかー」を読む、の2本を準備してくれましたが、発表の時間を十分にとることができませんでした。申し訳ありませんでした。

池田さんの発案で、渡辺さんの今回の資料を「6月特別例会」として6月10日(土)に発表していただくことになりました。急な設定ですが、多くのみなさんのご参加をよろしく願いいたします。(詳細は案内をご覧ください。)

終了後、「大戸屋」で夕食会。(このところ大戸屋が定番。)

6月特別例会

渡辺規夫さんの会

日時：6月10日(土) 午後5:00～

参加費：300円(『資料集』は別途です)

場所：上田市「中央公民館」

3F 第1・第2学習室

内容：1. 『物理学史研究』の研究 渡辺規夫さん
板倉さんの29歳のときの論文の「ガリレオはいかにしてその力学を建設したか」を中心に。
2. その他資料発表等

1. 発表資料

① サークルニュース 4月例会 遠藤 裕 (11ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 3月例会 遠藤 裕 (9ペ)
- ② 読書メモ2017年4月号 柳沢克央さん (52ペ)
 - － 関良基著『赤松小三郎ともう一つの明治維新』(作品社)ほか －
- ③ モル関連用語に「一貫性」を与えよ 柳沢克央さん (1ペ)
- ④ TOKIO 宙船(そらふね) 柳沢克央さん (2ペ)
 - TOKIOの「宙船(そらふね)」と忌野清志郎の「争いの河」の歌詞の紹介。
- ⑤ 紹介：信毎の記事<怪しいTV欄> 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑥ 紹介：信毎の記事 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑦ 紹介：日本の「重力値」40年ぶり更新 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑧ 紹介：ヴェーバー『プロ倫』を超コンパクトに要約する 柳沢克央さん (3ペ)
- ⑨ 紹介：ホップズ『リヴァイアサン』を超コンパクトに要約する 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑩ 紹介：ホップズ『リヴァイアサン』を解説する 柳沢克央さん (11ペ)
- ⑪ 理科送別会にて 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑫ 「似合う万年筆」価格の法則 柳沢克央さん (2ペ)
- ⑬ 4月21日(金)今朝の信毎感想 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑭ 仮説社 向山裕美子さま 柳沢克央さん (3ペ)
- ⑮ 紹介：信毎記事「黒板にチョークアート みんなにも描けるよ」 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑯ 紹介：長野市民新聞記事「なぞるだけ チョークで絵」 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑰ 中和反応と塩の生成を考えるカード試作版 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑱ ランキングで知る長野県 坂口富雄さん (4ペ)
- ⑲ 紹介：マジックバルーンで科学 渡辺規夫さん (1ペ)
- ⑳ 勝木渥先生追悼文 渡辺規夫さん (3ペ)
- ㉑ 専門学校生と仮説実験授業と〈しゅぼしゅぼ〉と紙芝居 渡辺規夫さん (12ペ)
- ㉒ <今月の本紹介17> 増田伸夫さん(40ペ)
 - 〔要約〕垂直軸と水平軸からイスラームを読み解く
- ㉓ <信州イスラーム世界勉強会> 講義メモ 増田伸夫さん (4ペ)
- ㉔ 物理学史研究から見るアルキメデスとその改作 渡辺規夫さん (5ペ)

② 読書メモ2017年5月号 柳沢克央さん（20ペ）

ちくま評伝シリーズ《ポルトレ》

『オードリー・ヘップバーン』（筑摩書房・2015年）ほか

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

今月もとにかく「読書予定リスト」の「在庫一掃」を心がけて、「消化吸收」をどんどん進めます。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

- ◎三谷宏治著『戦略読書』（ダイヤモンド社・2015年）（私物）
- ◎手嶋龍一著『汝の名はスパイ、裏切り者、あるいは詐欺師』（マガジンハウス・2016年）
- ◎ちくま評伝シリーズ《ポルトレ》『オードリー・ヘップバーン』（筑摩書房・2015年）
- ◎佐渡島庸平・里中満智子他著『人生と勉強に効く学べるマンガ100冊』（文藝春秋・2016年）
- ◎ちくま評伝シリーズ《ポルトレ》『岡本太郎』（筑摩書房・2014年）
- ◎川名壯志著『密着・最高裁のしごと一野暮で真摯な事件簿』（岩波新書・2016年）
- ◎世阿弥著・観世清和編訳『新訳・風姿花伝』（PHP・2013年）
- ◎瀬木比呂志著『絶望の裁判所』（講談社現代新書・2014年）（私物）
- ◎川島隆太監修・横田晋務著『やっはいけな^おい^お脳^おの習慣』（青春出版社・2016年）
- ◎河合出書房新社編『101人が選ぶとっておきの言葉』（河合出書房新社・2017年）

◇次回以降の予告 8冊を予定

◆まとめ・つぶやきなど

〔2017年5月20日（土）脱稿予定〕5月号を快調に作成し始めたら、データが壊れてしまって一週間ほど打ちひしがれていた。それでも何とか立ち直ってこの文章を打っている。前回と同様にある程度の余裕を見込んで^お切を設定してみた。この日はPTA総会の日なので、気持ちの上でも余裕があるとはいえ、大型連休も終盤となった。〔5月6日（土）〕

仕事にはリズムが大切。学校のチャイムは時間の区切りをつける上でとても有効だ。時間割にしたがって仕事を進めることは、今の私にはとても大切なことである。この環境に身を置ける時間は限られている。忘れずに努めるのみである。きょうは恩師・戸田忠雄先生の葬儀の日。合掌。〔5月17日（水）〕

私的に「読書メモ」を作って、サークルで配布して検討してもらうことには何ら問題

はないと思うが、これをウェブサイト（ホームページ）で閲覧可能とすることは、著作権上、問題があることに気づいた。掲載取り下げするなど、何らかの対策を取らねばならない。「読書メモ」執筆の意欲は下がるが、違法なことはやめなければならない。新聞のコピー掲載についても同様。サークルでほんとうのところ、どのように考えればよいのかご教示頂ければ幸い。〔5月19日（金）〕

予定よりかなり遅れ、例会前日の5月26日（金）午前10時10分に脱稿。（終）
（柳沢さんの読書メモ。ホームページへの掲載をどう考えるか。著者や本の内容に興味のある人にとって、本を購入するとき大変参考になる資料だと思うのですが。 エト^り）

③ 紹介：ブログ「内田樹の研究室」より 柳沢克央さん （8ペ）

内田樹氏のブログからの紹介とそれに対するひとことメモ

◇「朝日新聞のロングインタビュー」

朝日新聞の東北版にロングインタビューが掲載された。そのロングヴァージョンを採録しておく。

◆紹介者のひとことメモ

毎度おなじみの「内田節」の面目躍如といったところ。「精神分析」の手法を統治者と被統治者に適用して考えるところ、および、「憲法」などの高度に政治的な問題を「テレビドラマ」と結びつけてしまうところなどに独特の強い説得力を感じたので紹介したくなった。

こうした新聞記事が読めるうちは、まだ日本に言論の自由が存在していると考えて良いのではないか。内田氏は日本の将来について私よりもやや楽観的だと思った。

また、（私も含めて）日本人は憲法などの原理原則的な問題について真正面から論ずることを避けるか、論じたくない（論ずることが苦手・嫌い）という心性を持っているのではないかと感じた。上田仮説サークルはこれにはあてはまらないのであるが、このちょっとした「矛盾」はどう考えたらよいのだろうか。（柳沢克央）

◇神奈川新聞のインタビュー

憲法記念日に神奈川新聞にロングインタビューが掲載された。いつもの話ではあるけれど、これを愚直に繰り返す以外に悪政を食い止める方途を思いつかない。

◆紹介者よりひとこと…5月6日（土）の「朝日新聞のロングインタビュー」よりこちらの方が少し悲観的なトーンで話が運ばれているように読み取れた。まず、「日本は米国の属国である」という「病識」を持つことが大事だという、いつものながらの内田節。それでも、かなり説得力が強いので、繰り返すにはなるが紹介することにした。2017年5月27日（土）上田仮説サークル5月例会用（紹介：柳沢克央）

(内田樹氏のブログからの紹介。かなり筋の通った主張のようです。今後の発言も気になります。
エトワ)

④ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (12ペ)

4月下旬がから5月にかけての新聞記事の紹介。(信毎：信濃毎日新聞，朝日：朝日新聞) 17項目。

- ◇朝日 2017年4月30日(日) ・米艦防護 初の命令
- ◇信毎 2017年4月30日(日) ・スノーデン，監視社会の恐怖を語る 小笠原みどり著
- ◇信毎 2017年4月26日(水) ・権威から自由でいたい ノーベル賞ボブ・ディラン
信濃毎日新聞データベース ・地図を持たずに(10)＝ノーベル賞ボブ・ディラン/
権威から自由でいたい(串田和美)
- ◇信毎 2017年4月30日(日) ・日曜に思う 編集委員 曾我 豪
・自民党さんよ，あると重宝だよ
- ◇信毎 2017年4月28日(金) ・政界探見 78歳二階氏の「健康情報」
信濃毎日新聞データベース ・社説 二階幹事長 暴言を擁護するのか
・政界探見＝78歳二階氏の「健康情報」言動の「異変」陰で話題に 憤慨・・・一段と党内ににらみ
- ◇信毎 2017年5月7日(日) ・政界探見 菅氏政権危機管理一手に
- ◇信毎 2017年5月24日(水) ・「共謀罪」法案衆院通過 テロ対策目的か 乱用防
げるのか
・寄稿 思想家「内田樹さん 立憲主義廃絶への一本道
- ◇信毎 2017年5月26日(金) ・「総理の意向」加計学園文書 前文科次官「確実に存
在」 記者会見「行政ゆがめられた」
- ◇朝日 2017年5月26日(金) ・池上彰の新聞ななめ読み 加計学園「総理の意向」
文書 それでも認めないトップ
- ◇信毎 2017年5月27日(土) ・文科相「再調査不要」 自民，前川氏喚問を拒否
・焦点 加計学園「総理の意向」文書 文科省前次官証言 強がる官邸 個人攻撃
・斜面：

(最近の政治的な話題の記事が多いです。政治には疎い私ですが，このところ政治が混乱してきてい
るようにも思えます。 エトワ)

⑤ 紹介：信大の後期2次試験「化学」で出題ミス 受験者全員に得点

柳沢克央さん（1ペ）

信濃毎日新聞データベース 2001(平成13)年3月13日(火)朝刊から紹介。
授業でClを不可とし、C₂と書かせる根拠として紹介したもの。

⑥ 紹介：日本のエチレン生産量の推移 柳沢克央さん（1ペ）

石油化学工業協会のサイトからの紹介。

日本のエチレン生産量は2007年に天井を打ったと思われる。(柳沢)

⑦ 手書きメモからデジタル情報へ変換するためのメモ 柳沢克央さん（3ペ）

柳沢さんが文書を書いたり考えをまとめるとき、役に立てるためのメモの紹介。

例 1. 合格体験記の良し悪しの基準

「このようにやったら、うまくいった。あなたも真似してみませんか」という姿勢があるか、ないか。あればそれは良い「合格体験記」、なければ、たぶんだだけの「自慢話」。

必要なのは再現性の追求。授業やものづくり、人づきあい、本の書き方もみんな同じ。など、17の例が紹介されてます。

(ふとしたときに、これはと思う考えが浮かぶことがあります。メモをとる習慣が大切のようです。

エンドウ)

⑧ 「合格者体験記」執筆要領 柳沢克央さん（1ペ）

授業で生徒さんに書いてもらった「合格者体験記」の書き方。

まえがき ・どのような目的で書くか。(例)「合格できた自分」を設定し、その視点から見た「これからの自分」のとるべき方法を想像(創造)するため。

本文 ・実物の合格体験記を読み、味わった上でオリジナルの文章を書く。
・あえて合格体験には読まずに完全に自分が持っている材料のみで書く。
・実物の合格体験記をそのまま丸写しする。

あとがき ・書いた後で思ったこと、書きながら考えたことを書く。

志望校(または就職先)が決まっていない者は、仮に志望校(または就職先)を設定して、それについて書くこと。

「創造は想像から始まる」(流音弥) (1967～)

(このレポートは柳沢さんの手書きで、味があります。生徒さんに配る資料も手書きがいいですね。

エンドウ)

⑨ <今月の本紹介18>

増田伸夫さん(40歳)

〔要約〕イスラーム文化はすべて、『コーラン』というただ1冊の書物から解釈学的に出てきたもの

問題の予想を立てながら読む本の紹介。問題が7と質問が16あります。

☆井筒俊彦 著 『イスラーム文化 その根底にあるもの』

(岩波文庫) 定価：本体 600 円 (税別)

(1991年6月17日 第1刷発行 2004年4月26日 第23刷発行

底本に『イスラーム文化』1981年岩波書店刊を使用)

著者(1914～1993)は慶應大学名誉教授(イスラーム学者, 東洋思想研究者, 言語哲学者) 日本で最初の『コーラン』の原典訳を刊行 著書に『神祕哲学』(人文書院), 『コーランを読む』(岩波現代文庫), 『イスラーム哲学の原像』(岩波新書), 『意識と本質』(岩波文庫), など

*

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇異文化との遭遇/激突と文化的創造性 ◇「文化的枠組み」としてのイスラーム ◇砂漠的人間(砂漠の遊牧民=ベドウィン) ◇イスラームは砂漠的人間の宗教か? ◇イスラームは(砂漠的人間ではない) 商売人の宗教 ◇イスラームの聖典『コーラン』 ◇単相的な『コーラン』(多層的な『旧約/新約聖書』) ◇聖俗不分(→生活のすべて(政治/法/日常)が宗教) ◇聖俗二元論的キリスト教と聖俗不分のイスラーム ◇イスラームの神アッラーの特徴 ◇唯一神とキリスト教の三位一体論 ◇生きた人格神(人間は生ける神の奴隷→絶対帰依) ◇ムスリム(muslim)とイスラーム(islām)の語源 ◇神の全能性(神は今も, 時々刻々に創造し続けている) ◇イスラームとアトム(原子論的存在論=アトミズム) ◇イスラームのアトミズム=原子論的存在論←神の全能性 ◇神の全能性と因果律の関係 ◇アラブ(非連続的存在)とイラン(連続的存在)の衝突 ◇マッカ期(前期十年間)とマディーナ期(後期十年間) ◇イスラームと「契約」思想 ◇マッカ期: 人間の不義不正を罰する神→終末論的怖れ ◇マッカ期の世界観/人生観が暗くなる理由 ◇アラブ世界と「来生」概念 ◇来生重視(マッカ期)と現世重視(マディーナ期) ◇マディーナ期での変貌 ◇罪を罰する神への怖れ→慈愛に満ちた恵みの主への感謝 ◇神兆(アヤ)と『コーラン』(少し横道) ◇驛馬と『旧約聖書』 ◇『コーラン』とナツメヤシ ◇<否定から肯定へ><消極性から積極性へ> | <ul style="list-style-type: none"> ◇神との契約(セム的一神教の特色)の完全履行 ◇マディーナ期における契約概念の変化 ◇<タテ>の契約から<タテ+ヨコ(同胞)>の契約へ ◇イスラーム共同体(共通の信仰による連帯)という革命 ◇砂漠的人間の根底にあったもの ◇血の連帯感→信仰による連帯意識 ◇イスラームと「選民思想」 ◇イスラームの普遍性(アラブの宗教→世界的宗教) ◇イスラーム的「選民思想」(最高で, 開かれた共同体) ◇「啓典の民」(聖典をもつ宗教信者)の多層的構造体 ◇「片手に『コーラン』, 片手に剣」(←啓典の民以外) ◇啓典の民と人頭税(イスラーム帝国の最大の財源) ◇イスラームとキリスト教的「原罪」の概念 ◇人間の本性は元来, 清浄(自己否定から自己肯定へ) ◇イスラームと「輪廻転生」 ◇人はこの世に一回きり生まれてくる(現世の生が重要) ◇イスラーム法(共同体が任務を果たすための行動指針) ◇どう処理することが神から見て正しい道なのか ◇聖典に基づく倫理的五分法による行動指針 ◇命令(神の意志)と禁止(その否定)の体系=解釈学 ◇イスラーム法と「自然法」 ◇『コーラン』と「ハディース」の解釈学 ◇スンニ派イスラームの四大法学派(←解釈学) ◇シャリーア(イスラーム法) ◇シャリーア=人の歩むべき道=共同体のモラル ◇イスラーム法の内容(宗教的儀礼/民法/商法/刑法) ◇現代イスラーム(スンニ派)が直面している大問題 ◇現代イスラームの大問題 ◇律法主義(外面への道)と精神主義(内面への道) ◇井筒への講演依頼 |
|--|---|

前回読んだ小杉泰『イスラームとは何か』（講談社現代新書）は、豊富な基礎知識をもとに、＜垂直性（神—人間）と水平性（人間—人間）からイスラームとは何か＞を分かりやすく読み解いてくれた。ただし、この本だけでイスラームの根底にあるものまで十分に理解できたとは到底思えなかった。本書の副題はまさに「その根底にあるもの」だ。そこで、迷わず本書を読むことにした。本書ではイスラーム哲学の権威である井筒俊彦によって、イスラーム文化の根底にあるものが格調高く語られている（講演記録）。
そこで今回もまた、設問形式で本紹介を試みたい。

＊

＜一言で言えば＞：イスラーム文化＝『コーラン』解釈学

さて、この本の内容を一言でいえば「イスラーム文化なるものは、『コーラン』というただ一冊の書物から解釈学的に出てきたものである」ということになるだろうか。

＊

＜あとがきより＞

全体を通して感じたことは、イスラームも含め＜宗教は論争せざるを得ない！＞という宗教の根本的問題であった。一神教はがんじがらめで八方塞がり。解釈学に終始し、かくも息苦しい一神教をなぜ世界の半数以上の人が信仰しているのだろうかと改めて思った。さらに研究をすすめたい。

前回読んだ小杉泰著『イスラームとは何か』（講談社現代新書）は、＜（直接の言及はないが）本書を分かりやすく書き直した本に過ぎなかったのではないかと感じた。

本書はさすがイスラーム哲学の権威、井筒俊彦の講演記録だけあって、格調高く、しかもイスラーム文化の本質を的確についていると思った。小杉泰らイスラーム研究者に多大な影響を与えたと思われる本書は（読みにくさはあるものの）やはり名著と言えるだろう。（増田）

（増田さんは＜本書の要約＞も書かれています。イスラーム文化の本質を知る上で大変参考になる本
のようです。是非読んでみたいと思います。 エトワリ）

⑩ <信州イスラーム世界勉強会> 講義メモ 増田伸夫さん（8ペ）

松本市での連続講座の講義メモ。

連続講座「イスラームをその土台から眺めなおす」（全8回）

講座2：「イスラーム教の歴史を見渡す」

講師：板垣雄三（東京大学東洋文化研究所名誉教授／イスラーム学）

場所：松本市商工会館会議室（入場無料）

2017/5/20（土） 1:30～4:30

- ①イスラーム教の成立（人類的意識，イスラーム法，共同体）
- ②ムハンマドの年譜と西アジア情勢
- ③ムハンマドの「夜の旅」
- ④イスラーム登場の歴史的意義
- ⑤イスラームを一言で言えば
- ⑥巨視的なイスラームの時代区分
- ⑦シーア派の立場の特徴
- ⑧イスラームにおける〈知〉の重視
- ⑨3つの家の理念
- ⑩キャプチュラシオン（領事裁判権／協定関税／居留地など）
- ⑪ヨーロッパにおけるマホメット（ムハンマド）像
- ⑫十字軍・東方問題・パレスチナ問題
- ⑬ヨーロッパが煽った「宗教対立マニアックと権力」
- ⑭宗教対立・宗派对立を煽る
- ⑮世界はパレスチナ問題の周りを回っている！

<一言で言えば>

今回の講座②「イスラーム教の歴史を見渡す」の内容を一言で言えば、「イスラームの登場によってキリスト教文化圏としてのヨーロッパが意識された。そのヨーロッパは、二分法（政教分離／正統・異端など）によってイスラームとの宗教対立やイスラーム内の宗派对立を煽り，わざと宗教戦争を煽動・管理してきた。その結果が世界の現状だ」ということになるだろうか。

*

<感想>

今回は参加者数が予想を大きく上回ったため，急遽会場を変更することとなった。そこで今回はあらかじめ M ウイング隣の施設（松本市商工会館）の大きな会議室をおさえたという。（事務局の話によれば）今回も前回と同じくらいの参加者数であったようだ。板垣さんは今回も3時間の講義。内容は盛りだくさんだったので最後は時間を気にして急ぎ足。理解しにくい内容も多々ありました。

最後に取られた質問の時間に，参加者から出された質問（ジハードとは？／どうしてキリスト教とイスラームは対立するの？）から参加者たちの問題意識が見えてきたような気がしました。（増田）

《次回以降の予定》 みなさんも参加されてはどうでしょうか。

連続講座「イスラームをその土台から眺めなおす」(全8回)

第3回:「<近代性>の先駆としてのイスラーム文明」(¥300)

6/17(土) 1:30～ 松本勤労者福祉センター第2会議室

第4回:「イスラームがヨーロッパに負けたわけ」(無料?)

7/15(土) 1:30～ 松本市あがたの森

第5回:「<十字軍>から<反テロ戦争>まで」(無料?)

11/18(土) 1:30～ 松本Mウイング?

第6回:「イスラーム圏, イスラーム国家, イスラーム社会」

12/16(土) 1:30～ 松本Mウイング? (無料?)

第7回:「パレスチナ問題はなぜ解決しないのか」(無料?)

1/20(土) 1:30～ 松本Mウイング?

第8回:「世界の将来とイスラーム」(無料?)

2/17(土) 1:30～ 松本Mウイング?

(実際に講演会に参加し、講演者の生の語りを伺うのもよい刺激になりそうです。 エドワ)

⑪ 毎時間、終わりの5分くらいで

授業の振り返りをしてもらったら… 北村知子さん(4ペ)

《力と運動》の授業の「生徒のまとめ用紙」の紹介。

《力と運動》の授業を始めました。

1時間の授業の終わりに、必ず「今日の授業のポイント」と「授業で気付いたこと、分かったこと・感想」について記入してもらっています。

なんとなく始めたことなのですが、毎時間、授業を振り返る試みを始めたところ、授業の発言や選択肢の選び方の傾向が、以前と違うようなのです。

《力と運動》第1部で強調したかったことは、「運動方向に力が働くと速度が速くなる」でした。この点を踏まえての意見が以前より多かったように思います。

現在、第2部に入り、「運動方向に力がはたらかない場合、慣性の法則が成り立つ」ことを強調しようと思っています。

それにしても、運動方向に力がはたらく場合については、教科書に沿って授業を行ったのに、やっぱり自分のものにしていなかったんだな、と少しがっかりしました。

教科手では記録タイマーを用いて、斜面を走る台車の運動を記録し、グラフを作っているになっています。だから、斜面を走る場合には、重力の分力のせいで斜面方向の力が常にはたらき、速度が増す、ということを理解していると思っていました。

でも目的意識的にはたらきかけて行った実験（実習？）ではなかったんだなあと思います。

<生徒のまとめ用紙の紹介> *文頭の①、②などの数字は何時間目の授業かを表しています。

①摩擦力には「最大静止摩擦」「運動摩擦」の2つある。

☆物体を持ち上げるには、物体の重さより大きな力が必要だが、横に押す時は大きな力が必要ないと分かった。

②物の落ちる速さはだんだん早くなる。

☆物は地球の引力に引っ張られていることが分かった。なので落ちる速度はだんだん速くなり、短い間でかなりの距離を落ちることが分かった。

③球を斜めに転がすとだんだん速くなる。

☆球を斜めに転がせば、空中で物を落とした時と同じようにだんだん速くなると分かった。

④ものはいつまでも同じ速さで走り続ける。この法則を「慣性の法則」という。

☆ものは一度動いたらいつまでも同じ速さで動き続ける性質がある。

ものは電車などの乗り物と同じ速さで一緒に動くが、電車が急に止まったら空中にあるものは止まらない。

②落ちている間はどんどん速度が上がる。

☆物は高いところから落とすほど、落ちる速度が速くなるということが分かった。ただ見るだけでは同じ速さのように見えるが、ストロボスコープや「たらい」に当たる音などを比較してみると、落ちていくほど速くなることが分かった。

⑤ものは動いているときに落としてもまっすぐに落ちる。

☆ものは一度動いたら、いつまでもその速さで動き続けることが分かった。動いても落としている時は止まっている時とおなじように落ちることが分かった。

美術の先生に、「新幹線の中で絶対ジャンプするな。時速 200km 超の新幹線の中でジャンプすると、後ろの壁に激突するぞ」と言われたそうです。

また、数学の先生に「新幹線に乗っている時、チキンナゲットを食べようと思って上に放り上げたら、チキンナゲットが顔にぶつかった」ともいわれたそうです。

そんなことが果たしてあるのか、修学旅行で初めて乗る新幹線の車内で実験してきてほしいものです。

（物体に力が働いて加速していくという運動は、理解するのが難しそうです。授業書での授業ならうまく克服できそうですね。 エドワ）

⑫ 『物理学史研究』の研究覚え書き 渡辺規夫さん（12ページ）

板倉さんの編集で発行された『物理学史研究』をどういう方針で研究するかを書いた覚え書き。

＜研究の意義＞と＜研究の方針＞の部分だけ紹介します。

＜研究の意義＞

仮説実験授業と科学史研究の関連を調べる。

ガリレオはなぜ、何のために、何を考えて落下の法則を研究したのか。

このヒントは『ぼくらはガリレオ』にあり。

板倉はなぜ、何のために、何を考えてガリレオの文献を研究したのか。

板倉と他の科学史家との違い。

矛盾論を駆使して科学史を解明という手法は他の科学史家には見られない。

＜研究の方針＞

『物理学史研究』に載っている板倉論文を読み解く。

論文の和文和訳。意識。今日の言葉と数式で記述する。

注釈をつくる。

文献学的研究。

板倉の明らかにしようとしたことの達意眼目。一言で言う。

科学史聯と授業書のつながり

インピ「タス理論の持つ意義をはっきりさせる。

『物理学史研究』に書かれた論文の板倉の他の論文との関係。

論文発表の年譜を作る。

（渡辺さんのこの研究によって、板倉さんの「科学史研究と仮説実験授業」の関連が解明できそうです。 エトウ）

⑬ 板倉聖宣論文「ガリレオはいかにしてその力学を建設したか

—誰から何を学び何が独創的だったか—を読む 渡辺規夫さん（41ページ）

渡辺さんは「板倉さんのこの論文を読むと、この研究がもとになって授業書になっていることがよくわかると」と話されています。

（渡辺さんには、発表時間が少なくなってしまう、申し訳ありませんでした。特別例会で、じっくりと発表をお願いいたします。 エトウ）

あとがき 梅雨に入ったとはいえ、今年は雨があまり多くないような気がします。



職場では、企業の方や大学・専門学校の方の訪問が多くなってきました。高校3年生は進路を決める大事な時期、あせらずによく考えて進路を決定をしてもらいたいと思います。7月に中学3年生対象の学校説明会が予定されており、このところ係としてその準備に追われています。夏休みが待ちどおしいです。 (エンドウ)

★ 今後の予定 ★
7月22日(土)
8月26日(土)
9月23日(土)